

# 定例教育委員会会議録

(平成29年11月8日開催)

岡谷市教育委員会

# 定 例 教 育 委 員 会

日 時 平成29年11月8日(水)  
午前10時00分  
場 所 6階601会議室  
署名委員 太田委員 高木委員

## 【 次 第 】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 全国学力学習状況調査について 【別添資料】 (教育総務課)

2. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会等条例について 【資料No.1】 (教育総務課)

### ○ 報 告

1. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について 【資料No.2】 (教育総務課)

2. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について 【別添資料】 (各課)

### ○ その 他

・行事等について (各課)

・その他

【次回開催予定】 12月15日(金) 定例教育委員会 14時00分 2階 202会議室

### 出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、  
教育委員 高木 千奈美、教育委員 藤森 一俊

### 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課長 帯川 豊博、  
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、  
生涯学習課統括主幹 小口 喜照、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 保科 圭吾

## <会議録>

### ○開 会

岩本教育長： おはようございます。最近色々なニュースがある訳ですけども、一番衝撃的だったのは神奈川県座間市の事件でございます。事件の中身については徐々に解明されてきているようですが、どうもよく分からない。本当にこんなことを一人の青年が出来るのかなという思いもある訳ですけども、私が一番心配しているのは、高校生が殺されてしまった訳ですけども、その時にネットを使って呼びだされたということですよ。ネット犯罪というのは最近色々なところで聞かれる訳ですけども、本当に岡谷市内の高校生、或いは中学生が決して遠いところの世界ではなくて、ひょっとするとそういったことに関わっている子どももいるんじゃないかなという心配もしております。また、中学校の先生、或いは高校の先生方と一緒にこんな点を大事に考えていきたいなと思っております。

それからもう一つはですね、読解力の調査の報告がありました。国立情報研究所ですけども、その結果によると中学3年生の25%、4分の1が教科書の文章を理解できないという報告があり、私も本当にショックを受けております。中学3年で卒業する子どもたちの4分の1が、そういった読解力がなくて卒業していく、義務教育を終わっていく。これは大変なことだなという風に思います。読書離れ、本離れということはよく言われている訳ですけども、小さい時からしっかりと本や新聞等を読むというそういう習慣化ということをもっと岡谷市でも図っていく必要があるのではないかなあとこのことを思っております。こんな点についても、また委員の皆さんにもお知恵をお借りしたいなあと思っております。

それでは、只今より定例教育委員会を始めさせていただきます。本日の署名委員は太田委員さん高木委員さんをお願いをいたします。

最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

各課からの報告がございますが、まず、教育総務課関係でございます。

#### 1. 台風21・22号による教育施設の被災状況について

去る10月23日(月)、29日(日)に超大型の台風21号と22号が相次いで長野県内に接近し、市内の教育施設におきましても被害がございましたので、状況をご報告いたします。

教育総務課関係では、岡谷田中小学校で、強風により校庭南側の木が倒れ、フェンスが破損する被害がありました。当日朝、倒木を撤去し、フェンスにつきましては、現在修繕工事を実施しているところです。また、岡谷東部中学校では、強風により校庭南側のフェンスが斜めに傾くという被害がございましたが、こちらも現在フェンスの修繕工事を実施しているところです。その他、いくつかの小中学校で倒木がございましたが、特に大きな被害はございませんでした。

生涯学習課関係では、塩嶺野外活動センターと文化財資料を保存整理している分室の屋根が破損したほか、岡谷図書館の学習室で雨漏りがありました。屋根の修繕には多大な費用がかかることから、現在予算措置をしているところです。

スポーツ振興課関係では、やまびこスケートの森アイスアリーナ、国際スケート場で1時間ほど停電があったほか、国際スケート場敷地内において5本倒木があり、5本のうち2本が駐車場に倒れていたため、撤去をいたしました。

今回の台風では、多くの被害がございましたが、施設の老朽化等も進んでいることから、今後もしっかりと維持管理をし、市民や児童・生徒の安全確保に努めてまいりたいと思います。

#### 2. 市内小中学校の音楽会について

10月20日(金)から11月2日(木)の間に市内小中学校、一部の中学校では文化祭の時に開催された訳ですけども、音楽会が開催されました。その時の感想を申し上げたいと思います。市内各小中学校の音楽会にお招きをいただいて、子どもたちの歌声や合奏を堪能させていただきました。保護者、地域の方も大勢来ていただ

き、暖かい大きな拍手で応援をしていただいたところでございます。今年度特に感じた点でございますけれども、演奏する時の態度だけではなくて、聴く態度が大変良くて、本当に音楽会に相応しい雰囲気であったことが挙げられます。また、子ども発達段階に応じた選曲をしていただき、音楽の学習発表という点を大事にしながらかのアレンジ、或いはパフォーマンス等を取り入れるなど大変見応えがあるステージを工夫していただいて、これも特質ものかなあとと思います。いずれにしても全校、学年、学級が心一つにして演奏する姿が大変素晴らしいものであって、これからもこの音楽会を契機にして歌声がいつも学舎に響く、そんな学校であることを祈りながら校門を後にしたところであります。教育委員の皆様の中にも音楽会に出席していただいて、お聴きになった委員さんもおられますので、是非感想をお聞かせいただけたらと思います。

### 3. 第72回国民体育大会岡谷市関係出場者の成績について

9月30日(土)から10月10日(火)にかけて、愛媛県において開催されました第72回国民体育大会(愛顔つなぐえひめ国体)の、岡谷市関係出場者の成績について報告をさせていただきます。

大会には、ボート競技、体操競技、卓球競技、フェンシング競技、ボウリング競技、水泳競技の6競技へ選手18名、監督4名、監督兼選手1名、支援コーチ1名の計24名が参加されました。

このうち、入賞した競技は、ボート少年男子舵手付きクオドルプル長野選抜チームが、インターハイ優勝チーム岡谷南高校を中心としたメンバーで5位に入賞。少年男子シングルスカル内田智也選手が8位、少年女子舵手付きクオドルプル長野選抜チームが、岡谷南高校を中心としたメンバーで6位。フェンシング成年男子で河西遼太選手が8位、卓球成年男子が、岡谷市役所の3選手が出場し、長野県過去最高となる準優勝となりました。総合成績は、長野県で行われました冬季大会の成績も合わせまして天皇杯18位、皇后杯19位でありました。

入賞をされました選手の皆さんにお祝いを申し上げるとともに、選手の皆さんの今後のご活躍をお祈りするものであります。

岩本教育長： 以上、私からの報告とさせていただきます。今ご報告申し上げた点について、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いをいたします。

高木委員さん音楽会に参加されて何か感想がありましたらお願いします。

高木委員： 私は、北部中学校の音楽会に行かせていただきました。3年生の合唱を聴かせていただいたのですが、女子も男子もとても一生懸命歌っていて、積極的に合唱に取り組んでいて本当に素晴らしいなと思いました。カノラホールという素晴らしいホールで歌声を響かせることが出来る岡谷の子ども達は、本当に幸せだなと感じて帰ってまいりました。

小学校は、神明小学校の音楽会に行かせていただいたんですけども、神明小学校も学年ごとに工夫をされていて、子ども達が生き生きと歌を歌って、合奏をされていて本当に音楽会を楽しんでいたなあとということがとても伝わってきました。あと私が感じたことは、合唱の歌声というのを先生方がどんな歌声を作りたいのか、どんな合唱をしていきたいのか、どんな音楽を作っていきたいのかということ先生方が個々にお考えになっていると思うんですけども、学校としてもこういうものを求めているんだというイメージを持って、取り組んでいただけたらいいなあと感じました。

草間職務代理者： 私は文化祭の時に南部中学校に行かせていただきました。先ほどと教育長先生が言われたように歌声が学校内に響き渡るという感じは、中学生の男の子はなかなかそういう雰囲気にならないんですけども、南部中学校の子ども達はたぶん、統合後の岡谷田中小学校から行った1年生が入学して、初めての大人数での音楽会だったと思うんですけども、男の子、女の子の融合性がとれたとても良い音楽会でした。

岩本教育長： 実は今、カノラホールで6年生の交歓音楽会が行われています。私も少し顔を出して聴いてきましたけども、昔にくらべると本当に聴く態度がいいなあと感じます。結局、ステージの上で一生懸命歌うだけじゃなくて、聴くっていう力も出来ているなあとこのことをうんと感じて、とても嬉しくなって帰ってきた訳ですけども、やはり音楽というのは演奏する側と聴く側の両方が一体となるその良さというものを子ども達が分かってくれているなあとこのことは本当に嬉しくて、これからもますますそんな点を大事にしながらか、それが学校づくりの基本として据わっていただければいいなあと感じております。また、機会がございましたら是非、学校でそんな音楽を聴いていただけたらと思います。

それでは、本日の議事に移りたいと思います。

## ○議 題

### 1. 全国学力学習状況調査について (教育総務課)

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<学力向上アドバイザーより全国学力状況調査の岡谷市の分析結果について説明。>

岩本教育長： ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

草間職務代理者： ここ数年の傾向だと思えますが、小学校は全国平均を上回り、中学校は県平均と同等ということですが、中学校が全国平均を上回るようにするには、どのような方法と申しますか、これから岡谷の教育を向上させるにはどのようにしたらよいのか、その辺をお聞かせください。

学力向上アドバイザー： 昨年から小学校と中学校において、小学生が中学に行って中学校の授業を参観したりとか入学前にそういった機会を2度ほどとっているんですが、それに合わせて昨年は、小学校に中学校の先生方が来てくださって小学校の授業を見るというような機会がございました。その機会が大変良かったので、今年度は小学校の先生が中学校に来てくださいという要望がありまして、今週の月曜日ですけども、小学校の全部の先生方がそれぞれのお子さんが入学する中学校へ行って中学校の授業を参観させていただきました。私も東部中学校の方に参加させていただいたんですが、東部中学校では中学1年生の先生方が、5クラスありますがすべての授業を公開してくださり、小学校の先生方がそれぞれの学級に分かれて授業参観をさせていただきました。その授業をほんの10分間程度なんですけど、5学級全部見せていただいたその実感を今お伝えしたいと思えます。まず、授業がとても変わってきているということを実感しました。今まではどちらかというと中学校の授業は、チョーク1本黒板を背にして講義口調というのが定番だったと思うんですが、子ども達の興味、関心を引くような授業の始まる部分とか、例えば社会科でしたら、フランスの小麦の授業を扱う時に、フランスパンを持ち込み、新聞紙にくるんであるフランスパンを見せて「これ何だろうね」とう問い掛けをしたところ、子ども達は最初の導入のところでも興味を引かれていて、これから何が起ころうかというようなワクワクした眼差しだったので、授業が変わるなという実感を感じました。それから、数学の方の授業では、実物を用いて実物を実際に扱う中で子ども達が必要感を持って次の授業を展開するというような、そんな授業を見ることが出来たので、中学の授業が変わるという風に思いました。そういったところのそれぞれの学校の授業改善が進むことによって中学のお子さん方の力がさらについていくのではないかと思います。

岩本教育長： なんと申しても毎日の授業改善が一番の鍵だと思います。小学校であれだけ力がついて、そういう子どもが中学校へ行ってなかなか伸び悩んでいるというのは、やはり授業に何か課題あるのではないかと申すことで、今、中学の先生達も意識改革をしていただいて、本当に子ども達がやる気を出して、そして、考えたい、学んでみたいというような授業を作り出していただいておりますので、すぐ結果が出ないですけど、良い授業をやっていれば必ず私は、子ども達に力はついていくと思っております。色々な取り組みはありますけれど、一番はなんと申しても毎日の授業が大事かなと思えます。

太田委員： この調査というのは、一部報道なんかで話題に上りますけれども、このテストのために、テストの点を上げるために一生懸命やっている地域もあるという話を聞いたりしますので、どうしても県平均とか全国平均とかと比較してどうなんだということが結果として捉えがちなと思いますけれども、当然、全国でこういうことに取り組んでくればベースが上がりますし、ベースが上がってくれば平均点も上がってきますので、それで結果が判断できるかどうかということが非常に難しく、疑問符もつくところなんだと思えます。そういう意味でいくと、今、お話をさせていただいた授業の内容がこうなっている、こういう具体的なことをやって、こういう風に変わってきているんだという現場の先生、或いは生徒の皆さんの変化というかそういうところをきちんと見ていただいている。それが恐らく結果になってくるんだと思えますので、その辺の観点を非常に大切

にしていることが、今、お話を伺って非常によく分かりましたので、是非岡谷市では、そういったことを大切に、結果として平均を上回るとか上回らないとかこれも一つの基準ではありませんけれども、これに囚われずにきちんと見続けていただけると、今確認しましたし、そういう風になっていただきたいなあと思います。

橋 爪 委 員： 昨年度の結果をお聞きした時にお話させていただいたかと思うんですけども、こんな風にして先生方に本当にご努力していただいて、結果、成果が上がっているということは本当にありがたいと思う訳ですけども、そんな中で、正規分布で表れてくるとは思いますけども、私が注目していくといいのかなあと思うのは裾野の部分のお子さん達。学習が非常にスムーズに行くお子さん達はスムーズに行くお子さん達なりに、どんどん伸ばすことと、それからそこがゆっくりペースなお子さんを着実にしっかり学力をつけていくように伸ばすこと、その両方が上手いくとより成果も上がるのかなあということを考えていて、当然先生方にはそういうご努力をしていただいていると思いますので、ますますそこら辺に力を入れていただけるといいなあと思いました。

藤 森 委 員： 先ほど太田委員さんが言っていたところが、私も感じた部分であります。そこは同様にこれからも継続して良い授業になるように進めていっていただけたらと思います。また、質問で自分に良いところあるとかそういったところを、わりと最近の子ども達は自己肯定感が低いというようなことが世間的に言われているんですけども、岡谷の子ども達は、比較的自分で自分の良いところ、自尊意識が高いというところが結果として出ているということですので、子ども達は自己肯定感を高めることによって、それがまた学習意欲であったり、何かに対する取り組み意欲に繋がっていくこともあるかと思っておりますので、学力と共にそういった子ども達の意識の部分も、車の両輪の一つとして伸ばしていただけるような取り組みをさらに進めていっていただけるとありがたいなあと思います。

高 木 委 員： 先生方お一人お一人が授業改善に向けてすごく努力してくださっているとのことで、とてもありがたいと思うんですけども、それをするだけの時間を確保していかなければいけないということを見ると出来るだけそういう時間を先生方に確保していただけるような仕組み作りが必要になってくるだろうなあと感じました。

岩 本 教 育 長： ありがとうございます。いずれにしても学力向上は岡谷市教育委員会としましても大事にしているところでありますので、今後も色々な面から力を注いで子ども達が輝けるようにしていきたいと思っております。すでにこういった形で、10月30日付で保護者の方に出させていただいております。それから各学校のそれぞれの分析結果も合わせて各家庭に報告をさせていただきますので、ご承知おきいただきたいと思っております。

### 【承 認】

それでは、次の議題に入りたいと思います。

## 2. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会等条例について (教育総務課)

岩 本 教 育 長： 議題2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定の概要について説明。>

岩 本 教 育 長： 今の事務局の説明について、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

高 木 委 員： 組織は、いじめ問題対策連絡協議会といじめ問題対策調査委員会というのは常設で、いじめ問題再調査委員会というのは必要に応じて設置されるということでしょうか。

事 務 局： 市長部局で重大事態があつて再調査が必要な場合に、条例では設置を出来る規定にしておきまして、あつた時に改めて委員の選任をし、委嘱して立ち上げていくということになります。

高 木 委 員： その場合のこの3つの組織のメンバーというのは重複しないということでしょうか。

事 務 局： はい。利害関係がないよう設定をしております。

草間職務代理者： 学校から教育委員会に連絡があつた時に、いじめ問題連絡協議会の方に個々の事案について報告はいくのでしょうか。

- 事務局： いじめ等の状況報告、或いはその課題等を情報共有し、対策等についての意見をいただいたりという形のもので、全体を調整して連携していくというような組織になります。
- 草間職務代理者： これには直接関係ありませが、学校の組織はどのような形になっているのでしょうか。報告がきちんと教育委員会に上がってこない限り、有効に会として動かないと思いますが、そこら辺はどうなっているのでしょうか。
- 事務局： 子ども総合相談センターを中心に各学校のそれぞれの状況については、その都度、学校のいじめ対策委員会を通じて上がってきております。あわせて、子ども支援チーム会議におきましてもその時点で、長期欠席も含めてですけれども、情報を共有し、対策等の対応を協議するというような体制になっております。
- 太田委員： いじめ問題対策調査委員会のこういった場合に調査をするという2項目についてなんですが、1つ目が「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」となっていて、「生じる」ではなくて「生じた」となっているんですが、いじめの防止ですので、そういう重大な被害がこれから生じるかもしれないという疑いがあるからの調査ということではなくて、そういう事態が発生したことを受けてから調査をするという理解でよろしいでしょうか。
- 事務局： いじめ防止対策推進法という国が定めた法律がありまして、その第28条に規定された文言がこれになります。生命、心身、財産というのはいわゆる自殺をしてしまったとか、お金を取られてしまったとか、そういった部分なんですけど、あくまでもそういったことに対していじめがなかったという結論を先に下すのではなくて、まずそういった事態が起こった時にはちゃんとした調査をなさйтеというのが法律の趣旨ですので、今、委員さんがおっしゃっている事前の未然の防止という部分とは対応が違うものになります。未然防止の部分については、現在いじめ問題対策連絡協議会においてそういった未然防止の対策を取っておりますので、ちょっと立ち位置が違うという風に理解していただければと思います。あくまでも、いじめ問題対策調査委員会は、問題が起きたことに対して調査をするということですので、そんな理解をしていただければと思います。
- 草間職務代理者： 事態が生じる前という風に考えると、いじめ問題対策連絡協議会の中で疑いがある場合の検討や協議をするということでもいいのでしょうか。
- 事務局： いじめ問題対策連絡協議会の中でも調査が出来るような形の文言を入れてありますので、事実関係が確定する段階ではなく、確定する前の疑いところを捉えるということです。
- 事務局： これはあくまでも重大な事態、亡くなってしまった、自殺をしてしまったというものに対しては、ちゃんとこういった対応をしますということでありまして、学校の中で発生している、もしくは、発生の可能性があるというものには、平日頃の学校の組織の中でいじめのケアをしておりますので、そこは条例の中では通常の業務なんですよという風に理解をしていただけると、この条例の意味が出てくると思います。
- 太田委員： 条例として提出をする際に、「いじめ防止対策推進法」の規定に基づいて制定される条例で、その理解というのは非常に難しいと思いますので、参考の資料もできれば、事前の部分があって、これは起きてからなんですよというような全体の体系をお示しいただいたほうが、理解はしやすいかなあという風に思います。
- 岩本教育長： 基本的に私は、いじめというのは重大な事案になりうると思います。そうするとみんな疑いがある訳です。じゃあ全部それを取り扱うことが出来るかということそれは難しいことで、最終的には、万が一そういったことが起こった時には徹底的にやるんだという決意だということだと思いますし、それ以前でも疑いが当然ある訳ですので、それをいじめ問題対策連絡協議会を中心に一生懸命やっていく。ただ、現在でも岡谷市では、教育支援チーム会議の中でいじめについてやっておりますし、それから校長会を中心とした学校の先生方が入ったいじめの未然防止等を大事にするようなそういう委員会もございますので、色々な会議で上手に住み分けをしながら、とにかく未然防止、早期発見、早期対応のこの3つについて大事にしていきたいと思っております。
- 委員さんがおっしゃっておられることは大変よく分かりますが、上級の法律に沿ってやるのが通例でありますので、そんなことも含めてご理解をいただければと思います。この委員会が開催されないということが一番だと思いますが、1月1日から施行されるということですので、今から人選等も含めてしっかりと準備を進めていかなければいけないなと思っております。それでは、只今ご説明を申し上げました点について、教育委員会としてご承認いただけるでしょうか。

## 【承認】

岩本教育長：ありがとうございます。本日の議題は以上でございます。引き続き報告事項に移りたいと思います。

### ○報告

#### 1. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について（教育総務課）

岩本教育長：報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市教育委員会点検評価報告書について説明。>

岩本教育長：何かご質問、ご意見等はございますか。

教育委員会の所管の事務というのはこんなにいっぱいあるんだなということを改めて思いますし、それだけ責任もあるんだなあと感じております。これからもこういったものを基にしながら、さらに良い事業ができるように頑張っていきたいと思っております。  
それでは次に報告事項2に移りたいと思います。

#### 2. 岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について（各課）

岩本教育長：報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局より岡谷市議会9月定例会一般質問要旨について説明。>

岩本教育長：何かご質問、ご意見等はございますか。

高木委員：一つ教えていただきたいんですが、教育総務課の笠原順子議員の一般質問に対する答弁の中で「子育て支援関係課連絡会議」とありますが、前に一度お聞きしたかもしれませんが、もう一度教えていただけますか。

事務局：岡谷市の中でお子さんの様子を見ていきますと、生まれたときから、もしくは、生まれる前から色々な問題を抱えているご家庭がありまして、そういったことがずうっと引きずって行って18歳になるまでの間、発達障がいに関わる部分ですとか、経済的な問題ですとかありますので、そういった情報を母子の段階から庁内で共有しようじゃないかということで、立ち上げました。関係課というのは健康推進課と子ども課、それから教育総務課の3つの課で構成をしております、お互いにお子さんの安全、それからお子さんの将来を支えるという観点の中で、情報共有しながら風通しが良い関係を作りながら、お子さんの支援に当たろうということを一つの目標として、まず、今やっていることは、情報共有の部分をやっというこで対応しているところです。

高木委員：生まれたときからずうっと通してそのお子さんを支援していくということは、とても大切なことだと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

岩本教育長：駒ヶ根市でやっている子どものカルテみたいなイメージを私達は持って、関係課と集まっていますが、まだまだ、個人情報とか色々なからみの中で、色々な思いがあつて簡単にはいかないという現状がござひます。さらに力を入れて、まず共通理解に立つということが大事だと思ひます。  
他に何かござひますか。それでは、次にその他ということで、事務局から願ひします。

### ○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

岩本教育長： 続いて委員の中でご報告等あればお願いいたします。

1. 長地小学校来入児健康診断 保護者交流「なかよしプログラム」について（高木委員、藤森委員）

<高木委員、藤森委員から別紙資料により長地小学校来入児健康診断 保護者交流「なかよしプログラム」について報告。>

橋 爪 委 員： 長地小学校は以上になりますが、この後、11月10日（金）に小井川小学校、14日（火）に湊小学校、17日（金）に上の原小学校と続く予定となっております。また、ご報告させていただきます。

岩本教育長： 他によろしいでしょうか。それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、11月の定例教育委員会を終了とします。

終了11時25分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成29年12月15日

教 育 長 岩本博行

署 名 委 員 太田博久

署 名 委 員 高木千奈美

調 製 職 員 吉澤洋人

長地小学校来入児健康診断 保護者交流「なかよしプログラム」振り返り

対象：長地小学校来入児保護者

目的：保護者同士の仲間意識を高める

日時：平成 29 年 10 月 20 日（金） 15：00～15：20（20 分間）

来入児健康診断に合わせ、その後の保護者会の枠の中の初めの 20 分間。

場所：小体育館。保護者会用に、半分にござが敷かれていた。

ファシリテーター：藤森一俊（教育委員） 高木千奈美（教育委員）

参加者数：85 名（3 名欠席）

準備：保護者用名札

ファシリテーション内容：「ウオーミングアップの手あそび」「握手でこんにちは」「お仲間さがし」「みんなで輪」

託児：対応なし（同伴幼児 1 名）

見学者：更生保護女性会より 2 名

#### 振り返り

- ・学校側で、首から下げる名札を予め用意してくださり、保護者の皆さんに受付でそれぞれ名前を書くよう案内してくださったので、開始時間に余裕があった。
- ・最初、ござが敷かれているところで座って手あそびをし、場が和んだところで後方に移動。名札を付けて、握手と自己紹介。その後、全員の顔が見えるように一円になり「お仲間さがし」をおこなった。最後は、全員で手をつなぎ「仲間の輪」をおこなった。保護者は、自己紹介場面などでも躊躇する様子はなく、自然に活動に入っていた。
- ・見学にいらした更生保護女性会の方からは、保護者が知り合うには大変よい取り組みである、保護者が子どもから離れて、保護者同士のこうした時間を持つというのは意義深いという感想をいただいた。

#### 保護者の感想

- ・初めて小学校に入学させる不安もあったが、同じ悩みを感じているという親が他にもいるということがわかり、少し安心した。
- ・最後にみんなで手をつないだのは、みんなと一つになれた気がした。
- ・ベテランのお母さんに頼ることもあっていいかなと思えた。
- ・親や子どもの名前を知ることは、4月になってからでもよいかと思う。

#### 成果

- ・20 分間という限られた時間であったが、保護者同士、リラックスした様子で活動に参加しており、ファシリテーターの問いかけにも笑顔で応えてくれる姿が見られた。そうした中で、仲間意識を自然な形で持ていただけたのではないかと思われる。
- ・来入児係の先生が、来年度も継続して行うのであれば、初めておこなう今年度に必要なことを経験しておき来年度に送りたいと、名札づくりなど前向きに取り組んでくださった。

#### 課題

- ・保護者が 90 名近く人数が多いので、一堂に会してお互いを知り合うには限りがあるが、その限られた時間、方法の中でできるだけ成果をあげていくよう検討の余地がある。
- ・PTA や地域の方の協力をいただける形を模索していきたい。